

2025年2月14日

鉄道事業の旅客運賃変更認可申請について

平素より、当社鋼索線(通称:叡山ケーブル)の運行に関しまして、ご理解賜り誠にありがとうございます。
京福電気鉄道株式会社(本社:京都市中京区、代表取締役社長:大塚憲郎)では、2025年4月1日(火)
(予定)の実施に向けて、近畿運輸局長宛に鉄道事業の旅客運賃の上限変更認可申請を行いました。

申請の理由及び内容は以下の通りです。

ご利用のお客様にはご負担をおかけすることとなりますが、何卒ご理解の程お願い申し上げます。

1. 申請の内容

(1) 申請理由

当社鋼索線は、1925年12月20日に開業し、天台宗総本山延暦寺への参拝や、比叡山観光に訪れるお客様の移動手段としてご利用いただいております。

本事業は、自社による増収対策の実施はもとより諸経費の削減を図るなどの対策により、1989年に実施した消費税3%導入に伴う改定からこれまで、消費税率改定に伴う改定以外の運賃改定は行ってまいりませんでした。新型コロナウイルス感染拡大によって利用者が激減いたしました。安全確保のための必要最小限の修繕工事に絞るなどの対応で事業を継続してまいりました。

しかしながら、2023年の新型コロナウイルス感染症5類移行後は、利用客数の回復は進んでいるものの、原材料高騰による工事費の上昇、燃料高騰による電気料金の値上がり、最低賃金の上昇や雇用確保維持のために必要な賃金水準維持による総体的な人件費増加等により、今後の収支見通しにおいて現行運賃では収支改善、事業継続を図ることが困難な状況となっております。

設備の更新や、軌道等の修繕対策を継続的に実施することで、事故のリスクを低減し、今後とも引き続き安全な運行を行ってまいりますとともに、駅施設のリニューアルを図ることで、鋼索線を利用されるお客様に快適なサービスを提供するため、このたび運賃改定の申請を行いました。

(2) 申請の概要

A. 運賃

運賃区分	申請
普通運賃(大人)	600円

(3) 実施予定日

2025年4月1日(火)

(4) 改定率

運賃区分	増減率
普通運賃(大人)	9.091%

(5) 申請・現行運賃比較表

普通旅客運賃

	現行	申請
大人	550円	600円
小児	270円	300円

2. 鋼索線収支実績及び推定

(単位:千円)

	2023年度 実績	2024年度 推定	2025~2027年度予想 (3か年合計)	
			現行	申請
収入	95,328	100,305	334,266	364,007
支出	105,805	120,522	365,213	364,727
差引	▲10,477	▲20,217	▲30,948	▲720
配当 所要額	500	2,403	7,209	7,209
再差引 損益	▲10,977	▲22,620	▲38,157	▲7,929
収支率	89.7%	81.6%	89.8%	97.9%

3. 運賃収入内訳

(単位:千円)

	2023年度 実績	2024年度 推定	2025～2027年度予想 (3か年合計)	
			現行	申請
定期外	92,499	97,636	326,260	356,001
定期	0	0	0	0
合計	92,499	97,636	326,260	356,001

4. 輸送人員の推移及び今後の需要見通し

(単位:千人、%)

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 (推定)	2025年度 (推定)
定期外	237	132	131	194	225	238	251
定期	0	0	0	0	0	0	0
合計	237	132	131	194	225	238	251
前年比	+5.3%	-44.3%	-0.8%	+48.1%	+16.0%	+5.5%	+5.5%

※定期旅客運賃について長年利用実績が無いため、今回廃止申請します。

5. 設備投資実績・計画

(1)設備投資計画と実績

(単位:千円)

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 計画	2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画
建物	0	0	0	0	0	0	30,000	30,000	20,000
建築物	0	0	0	32,068	14,800	4,500	0	0	0
車両	0	0	0	0	0	2,500	4,000	0	0
機械装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工具器具備品	0	0	874	0	0	0	0	0	0
その他	2,762	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,762	0	874	32,068	14,800	7,000	34,000	30,000	20,000

(2)主要な設備投資の内容

- ・ケーブル駅トイレ高付加価値化改修工事(2022年度)
- ・落石防護工事(2022年度・2023年度)
- ・ケーブル比叡駅耐震補強工事(2025年度・2026年度・2027年度)

6. これまでの経営合理化の状況及び今後の取組

各部門とも運輸安全マネジメント制度に基づき定めた安全基本方針の下、安全確保を最優先課題として取り組む一方、鋼索線では主原動機や制御装置を初めとする機器の全面的な更新、自動運転化を実施し、安全を確保しつつ必要最小限の人員配置で、可能な限り効率的な運用を行っております。昨年度は、自動券売機の増設等により駅業務の効率化を図りました。

また、本社管理部門につきましても、定年を迎えた職員の嘱託化や事務スタッフの嘱託採用など、ローコスト運用を継続して行っている状況です。

今後も安全安心を最優先に、更に効率的な運営を行ってまいります。

7. 利用者サービスの向上策

(1) ケーブル駅トイレ高付加価値化

ケーブル八瀬駅とケーブル比叡駅トイレについて洋式化や、ベビーシートの新設設置のほか、トイレの美装化を行いました。

(2) 車内放送の多言語対応

外国人旅行者の増加に合わせて、2024年度より放送設備の改良を行い、車内放送の多言語化を実施しました。

(3) ケーブル比叡駅耐震補強工事

ケーブル比叡駅の老朽化及び耐震対策を実施して、駅舎の安全性とお客様の快適性向上を図ってまいります。

以上